

新上五島 芋焼酎「五島灘」が完成

本格芋焼酎「五島灘」



「立派な焼酎を送り出

新規参入の酒造会社

国は二〇〇六年一月は福岡など六県を除く▽原料のコメカムギ、四十一都道府県。同社サツマイモ、ソバの生には今年二月、免許が産地が業者のある市町下り、三月に製造開始。村▽年間製造量が百キ原液が約五キロできた。以以内などを条件に現在瓶詰めやラベル新規参入を許可。対象張り作業をしている。

新たな特産品へ

【上五島】国の規制緩和で新規参入した「五島灘酒造」(新上五島町、田本喜美代社長)が本格芋焼酎「五島灘」の十月一日発売に向けて製造を進めている。町内の飲食店で二十六日、発表会と試飲会があり、関係者約五十人が新たな「特産品」の誕生を祝った。

「五島灘」の特長は口当たりが優しく、さっぱりとして香りほさわやかという。一本七百二十ミリ入り千四百九十一円。原液で一・二キロ分に相当する約二千五百本を、主に長崎県酒販(長崎市)を通じて酒店などで扱ってもらい、残りは熟成させて来春販売する。発表会で田本社長は

試飲会で誕生祝う



新たな特産品「五島灘」の誕生を乾杯して祝う出席者
＝新上五島町有川郷

井上町長は「最高の焼酎だ、と広めてほしい」と祝辞を述べた。出席者ら出席者は、五島灘の試飲を楽しんだ。県によると、〇七年産サツマイモの本県の収量は全国九位の八千五百四十ト。新上五島町が県内二位の千六百七十八トを占める。問い合わせは五島灘酒造(電0959・42・0002)。

ふるさと経済